

「新・やまがた農業人」紹介



反町 舞 さん 村山市で就農

【出身地】群馬県玉村町

【就農先】村山市地域おこし協力隊(嘱託)

【就農年度】平成 25 年度(平成 22 年度実践農業研修事業
で1年間研修)

【経営概要】水稲 130 ha (はえぬき、酒米)、すいか 40a
青菜 30a

山形県での就農の動機や考え方

東京の短大で醸造食品を学んでいた時、日本酒と酒米に興味を持ちました。山形の酒蔵を訪ねたりしているうちに豊かな山形の自然に魅了され、山形での就農を決心しました。そこで、同世代の女性たちが働いている「山形ガールズ農場」に入社し、酒米を始め様々な農作物の栽培をしました。夫の貴浩さんと知り合ったのもちょうどその頃です。

その後、二人で就農しようと農地を探しましたがなかなか見つかりません。そんな時、村山市樽石の農家の方と知り合い、農地や住宅をあっせんしていただきました。

今、就農している樽石地区は自然が豊かで水がとてもきれいなところです。就農当初は、私たちの技術の未熟さや知識のなさから水稲やすいかの栽培で大変苦勞し、農業の厳しさを身をもって感じましたが、地域の人たちが生活から農業まで、私たちが知らないことを何でも温かく教えてくれました。

現在は水稲とすいか栽培が中心ですが、将来は稲作経営を柱に酒米も増やしなが、すいかやさくらんぼを組み合わせた複合経営を目指しています。新規就農者は地域に積極的に溶け込むこと、それが一番大事なことと思っています。